令和4年度　南信州広域連合地域自立支援協議会　人材育成部会　活動報告

1. 本年度のねらい・目的

「ネットワーク作り」をテーマに、部会を通して圏域内の法人、事業所、市町村からの情報を共有し連携体制の強化、情報交換の場としていく。

また、相談支援専門員としての役割とチーム作りについて、手順を含めた基本の確認と多職種協働の大切さについて確認し、主体性を持った事例検討を行なう。

1. 部会活動計画

・専門研修会の企画

・ライフステージの変化を見据えた計画（サービス等利用計画・個別支援計画）について考える。

・サービス等利用計画の質を上げる。

・関係機関、他事業所との連携方法等について学べる場とする。

1. 部会開催日程・活動内容

＜専門研修等＞

〇第1回　8月18日（木）　10:00～12:00　　　　　　（50人）

会場：オンライン開催（zoom利用）

「サービス等利用計画と個別支援計画の連動性について」

講師：社会福祉法人　高水福祉会　常務理事　野口直樹　氏

〇第2回　11月18日（金）　10:00～11:50　　　　　（94人）

会場：オンライン開催（zoom利用）

　　こども部会・人材育成部会　合同研修会

　「発達特性のある子の学齢期での生活支援を考える～飯田市への訪問を通じて～」

講師：日本相談支援専門員教会顧問　福岡寿氏

＜相談支援専門員の会＞

　　〇第1回　5月17日（火）　10:30～12:00　　　　　　　(32名)

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　令和3年度活動報告・令和4年度活動計画について

　　〇第2回　7月19日（火）　10:00～11:30　　　　　　（23名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討2ケース　×5グループ

　　〇第3回　10月18日（火）　10:00～11:30　　　　　　（25名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討2ケース　×5グループ

　　〇第4回　12月20日（火）　10:00～11:30　　　　　　（24名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討2ケース　×4グループ

　　〇第5回　2月15日（火）　10:00～11:30　　　　　　（24名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　今年度の活動の振り返り(アンケート集計を基に)、来年度に向けて

＜グループホームバックアップ担当者会＞

　　〇第1回　6月21日（火）　13:30～15:00　　　　　　（14名）

　　　会場：さんとぴあ第1講習室

　　　　令和3年度活動報告・令和4年度活動計画と世話人研修会について

　　〇第2回　9月20日（火）　13:30～15:00　　　　　　（8名）

　　　会場：さんとぴあ第1講習室

　　　　世話人研修、各グループホーム必要経費（徴収費用）について

　　〇第3回　12月20日（火）　13:30～15:00　　　　　　（11名）

　　　会場：オンライン開催（zoom利用）

　　　　世話人研修の内容の確認、進め方の共有（役割分担）

　　〇第4回　2月21日（火）　13:30～14:30　　　　　　（13名）

　　　会場：オンライン開催（zoom 利用）

　　　　今年度の活動の振り返り(アンケート集計を基に)、来年度に向けて

・第1回　グループホーム世話人研修会　　1月17日（火）13:00～14:00　　（73名）

　会場：オンライン開催（zoom利用）　　　　　　　　　　　　　　11事業所参加

　　　「リフレーミング（言い換え）を学ぶ～個人ワーク発表及びグループワーク～」

1. 成果

＜専門研修等＞

・サービス等利用計画と個別支援計画の連動性について、社会福祉法人高水福祉会　常務理事の野口直樹氏に講義を依頼、利用者の意思（ニーズ）に応えるためには日々関わる様々な支援者（関係者）の「気づき」が重要である事を再確認した。

・こども部会との合同研修会では「発達特性のある子の学齢期での生活支援を考える（飯田市への訪問を通じて）」をテーマに日本相談支援専門員協会顧問　福岡寿氏に講義を依頼、「児から者へ」の橋渡しにどのような力が必要なのか、また将来を見据えた支援として誤学習にならないための関わり方や距離感の取り方について改めて考える機会となった。

＜相談支援専門員の会＞

・今年度もＧＳＶ（グループスーパーヴィジョン）という手法を用いた事例検討を中心に活動を行なった。様々なケースに目を通すことでサービス提供の在り方、連絡調整の役割等、相談員としてどこまで寄り添う形ができるのかなど学ぶことができ良かった。

・端的に話す力、まとめ方の重要性。自分以外の人からの見方や手立ての方法、アイディアを頂くことができた。

・それぞれの事業所や立場の違いの中で地域差も含めて色んな意見を出し合い、情報交換できたのが良かった。

＜グループホームバックアップ担当者会議＞

・他法人との情報共有の場として、状況に応じてzoomも利用しながらの開催とした。

・テーマにおける事前提出資料をもとに、それぞれのグループホームの現状や対応について話し合うことができ参考になった。（各グループホームの家賃等必要経費の共有、感染症対策についての情報共有等）

・日々の支援と感染対策を求められる中、zoom使用にてグループホーム世話人研修会を初めて開催した（リフレーミングを学ぶ）。参加者も多く、考えと対応の仕方に少し変化があったように感じている。世話人さんたちからも好評であった。

1. 令和5年度に向けて

＜専門研修等＞

・年間2回（上半期・下半期）開催予定

〇上半期：各事業所のサービス管理責任者にアンケートを実施し集計内容に応じた専門研修を予定

〇11/14（火）ＡＭ　：　福岡寿氏講義（こども部会との合同研修会）

＜相談支援専門員の会＞

・ＧＳＶの継続（令和5年度は、会の終わりに今回の事例検討で採択を決めた支援のアイディアを発表、次回の会の冒頭に前回事例検討で採択した支援のアイディアの導入後の様子について報告）

・ＧＳＶ等参加者が主体的に参加できるような仕組みについて

＜グループホームバックアップ会議＞

・バックアップ担当者会議については状況に応じて集合とオンラインを併用しながら開催

・引き続きコロナ禍での運営状況、感染症対応を共有する

・オンラインでの世話人研修の継続

（・高齢化の支援（主に認知症など）について）